



私たちの句会

高砂石路句会  
会長 中野吉隆

私たちの高砂石路句会は十一名の会員で原則として毎月第一水曜日の午後彦三の公民館で開催しています。経験豊富なベテランから初心者も居て和氣藹藹で活動しています。

句会は前回に出題した兼題二つを夫々二句宛計四句作句して短冊に書いて投句します。それを番号をつけて順番に回して各自それぞれ記録して八句選句します。主宰の原篠さんが司会して各自が選句した番号を発表します。そして順番に全員が自分の選句した句の感想や疑問に思った句について質問したりします。最近

は少なくなりましたが季節などあれば注意したりします。全員の発表が終わったら主宰が作者名を聞き各自メモします。さらに全般的に批評や気を付ける点などを指導してもらいます。次回の兼題を当番より発表して終了です。年末には大志忘年句会をして一年の研究を讃えあつて懇親を深めます。今回の句会の流れは凡そ次の通りです。一人四句宛計十一名分番号を付け四十四句が回覧されて書き写しの中から各自八句を選句します。兼題は「秋の空」と「芒」でした。全員の選句発表が終わると、順番に選んだ理由など感想を発表します。ここまではまだ作者名は分かっています。主宰より各句の得点数を発表し確認します。

この日の最高点獲得者は七点句が二名でした。ちなみに七点句の二人は次の通りでした。

風吹きて芒は光の波となる  
上島ミイ  
秋天へ庭師缺の音弾む  
表 和子



選句発表での一風景

私の選んだ漢字「絆」です

114期1組  
会長 田中清之

令和4年の漢字は『戦』に決定しました。ウクライナ侵攻の『戦』・サッカーW杯の『戦』、円安・物価高の『戦』等にて決定の様です。私の選んだ漢字「絆」です。

私は社会人の第一歩は、繊維会社に勤務、サラリーマン生活40年間の約半分を過ごし残り半分は、サービスマンにて62歳で定年退職しました。

「絆」・・・糸偏の半分すなわち「絆」です、これは何かの縁廻りです。定年退職後は、金沢ボランティア大学校受講をきっかけに様々なボランティア活動を行ってきました。また、高砂大学校・高砂大学校大学院を受講し、現在高砂大学校同窓会役員として

の仲間、いずれにしても皆「絆」でつながっています。中央公民館彦三館での学びも縁廻りです。これからも「絆」を大切に過ごして行きたいと想います。

高砂草笛愛好会の活動について

会長 林芳樹

開講6年目を迎え、会員の確保やスキルアップ等の課題を抱えながら活動してきました。今年度は、これまで次の4回の主要活動を実施しそれなりの成果を得ることが出来ました。

- 1. 高砂作品展の一環として、草笛演奏を実施しPRに努めました。
- 2. 高砂演芸発表会の演奏では、舞台横に歌詞を表示して会場の皆様と一緒に歌って頂き、舞台と会場の一体感が得られたように感じ嬉しく思いました。
- 3. 高砂一座として、地域の高齢者グループに対し演奏しました。草笛に合わせ

て皆で歌うことにより、懐かしい昔を思い出し、心が和み元気づけられたと好評だったように感じました。4. 当会員の友人が参加している自然体験ボランティアグループからの依頼により、草笛演奏と吹き方指導しました。子供から高齢者まで年齢差がありました。自然に開わりの曲を中心に演奏し、周辺の住人にも響き予想外の評価を頂きました。

草笛を楽しもう！

草笛は、草木の葉っぱに息を吹きかけて葉っぱを振動させ音を出します。(人間が無意識に咽の声を振動させて声を出すのと同じ原理)懐かしい素朴の音色を出す自然の楽器です。

自分が歌える曲は、「楽譜を知らなくても奏でることが出来ます。吹くことにより複式呼吸になり健康です。散歩や山歩きなどで手軽に楽しませませんか！

練習は、原則として毎週金曜日午前10時から1時間程度です。歓迎します！



演奏風景錦水会館にて

高砂ハーモニカサークルと自分

会長 戸水徹

高砂ハーモニカサークルは、平成二十五年七月に発足して今年で十年目を迎える節目でもあり記念の年でもあります。

毎月の例会練習日は、月二回第一月曜日と第三月曜日が主で、練習時間は午前十時から十一時三十分迄です。講師は猿谷朗先生です。

会場は中央公民館長町館四階の教室にて行い、練習日には担当役員が早くから出仕をして、テーブル、椅子、名札等準備のお世話を

して頂いています。尚、新しく入会された方は、三か月程度九時三十分から十時までの間は早めに来て、その場の雰囲気や慣れ、そしてハーモニカの初歩から、講師の先生から親切丁寧に教えてもらい、その間少しづつ上達し三か月後にはかなりの腕前になりサークルの仲間と共に練習に励んでいくこととなります。

とここで、自分事ですが、高砂ハーモニカサークルに入会した動機は当時生きたい演奏大会で舞台係の担当となり舞台脇で、演技、演奏、舞踊等見聞しながら舞台のお世話をしました。その中で一番印象に残ったのが音色良く、馴染み深く、いい感じを受けたのがハーモニカ演奏です。その感銘を受け平成二十八年二月に、ハーモニカサークルに入会することにしました。

入会当日はオブザーバーとして出席し、サークルのみなさんの練習を拝聴し、大変上手なのに驚き、自分はハーモニカを、見たことあるけれど、吹いたこと皆さんのようにうまく吹けるようになるか、聊か憔悴していた処でしたが、その後先生に教えていただき、何とかサークルの皆さんについていけるようになり歓喜しています。

また、コロナ禍の関係で二年ほどの間練習が休止の月もありました。今は八十年の練習でバスハーモニカに挑戦しています。バスハーモニカは吹くのみで、吸っても音が出ません。大変難しいです。

一生懸命練習し、時には先生から寸評をいただきそれを励みにサークルの皆さんと仲良く練習しています。

十月四日の生きがい演芸発表会には素晴らしい演奏ができればと思っています。



生きがい演芸発表会にて

和紙・布を使って楽しく「作る」仲間たち

高砂紙細工グループ  
会長 小島美智子

私達、紙細工グループは今は九名の少人数グループですが、月二回の例会日には連絡を取りながら楽しく手を動かし作品作りを精を出しています。年間を通して高砂作品展や武蔵地下クロスピアの展示など積極的に出展して作品への思いを強めています。

また、近年は「期」の行事のお手伝いとして仲間と参加し、作品作りの楽しさを伝えていきます。更に、私個人としても、地域サロンからの手作り講座の依頼を受け、日ごろ作っている作品の中から、手軽に短時間で出来る物を紹介し、皆で作品完成の喜びを分かち合いました。

四十年以上続くグループですが、今まで多くの先輩方と守り続けていますが、

も増えて大きな展示会は困難になっていきますが、それでも少人数だからこそ繋がりを大切に親睦も取りやすく、今は「コロナ」で自粛中ですが、一泊旅行や昼食研究会認定講師沢田玲子特別所長、出戸ひとみ講師から毎月新しい歌謡曲の中から男性曲と女性曲の各一曲を選び、水曜日午前に早番と遅番に分けてレッスンを受けています。(コロナ禍のため現在、4グループに分け実施)常に新しい歌をマスターでき、どこへ行っても主役として歌う事ができます。

歌は脳内ホルモンを活性化させ認知症予防に良いと言われています。活動としては演芸発表会に100名以上が合唱に出演するほか、春に山代温泉、秋に和倉温泉で班別に発表会を行っています。また年末最終日に、一年間習った歌から発表会を行っています。今年クラブ発足から40年になります。40周年記念行事として全員に記念品の配布のほか、4月に一泊研修旅行、10月に日航ホテルで記念パーティを予定しています。コロナ禍の一日も早い終焉を願っています。見学は随時ですので、お立ち寄りください。



和紙・布を使って楽しく「作る」

会長モットー

明るく楽しく  
そして笑顔で

今後、展示の予定は新たに「東横イン・シヨウウインドー」や「金沢医療センター」を加え、挑戦する気持ちを持ち続けたいと思っています。

歌は脳内ホルモンを活性化させ認知症予防に良いと言われています。活動としては演芸発表会に100名以上が合唱に出演するほか、春に山代温泉、秋に和倉温泉で班別に発表会を行っています。また年末最終日に、一年間習った歌から発表会を行っています。今年クラブ発足から40年になります。40周年記念行事として全員に記念品の配布のほか、4月に一泊研修旅行、10月に日航ホテルで記念パーティを予定しています。コロナ禍の一日も早い終焉を願っています。見学は随時ですので、お立ち寄りください。

高砂歌謡クラブの活動について  
会長 酒井 高三  
高砂歌謡クラブ会員22名 ビクター歌謡音楽研



歌謡クラブ練習レッスン風景